

## 東北大学大学院経済学研究科 国際交流室

事業名	地方在住の外国人留学生にグローバル人材育成・キャリア教育支援			
実施期間	平成25年6月～平成26年1月			
場所	東北大学大学院経済学研究科 国際交流支援室			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	267 名	43 名	30 名	340 名

### <実施内容>

近年、企業が海外進出を積極的にするようになり、海外で即戦力として働くことができるグローバル人材へのニーズが高まってきた。しかし、日本で就職したいと考えている地方の留学生の多くは、情報がなかなか行き渡らないことから、就職活動に関して不安を抱えている事が多い。そのような留学生のために、就職活動に関する支援を継続的・包括的に実施した。

本年度はこれまで東北大学が国立大学法人として先駆的な取り組みを行ってきた内容に加え、「財団法人中島記念国際交流財団」の助成を受けて実施した当該事業に改良を加え、地方在住であることにハンディを感じさせない実践的な内容を実施した。



グローバルリーダー講演会の様子

#### 日本での就活対策セミナー(全6回)

日本での就職活動の内容および心構えについての講座を開催した。

#### 内定者によるワークショップ (全11回)

留学生が就職活動を進めていく上で必要となる知識・スキルについて、内定取得者や就職活動経験者が定期的にセミナーを開催し、就職活動でのポイントや自らの経験を教えた。グループディスカッションのセミナーでは海外留学経験のある日本人学生も参加対象に含め、より実践に近い練習の機会を与えることができた。自己分析・自己PRの書き方・ES添削、模擬面接に関してはマンツーマンでの指導をした。

### <参加者からのコメント>

#### 【来場者側の感想】

- ・アナリストという職業について今まで意識したことはありませんでしたが、本当に様々な種類があること、外資系企業の雰囲気や日系企業との考え方の違いなど、興味深いお話を伺うことが出来ました。
- ・「3年で使い捨てにされない人間になる」という言葉が非常に印象に残りました。これから銀行で働く私にとって、若いうちに様々なスキルや考え方を身に付けることはとても重要だと感じていたからです。
- ・大学ではなかなか聞くことができない刺激的なお話を頂きました。この機会に恵まれたことに感謝しながら、自分のキャリアについて考え、日々の行動に落とし込んでいきたいと思えます。

**【企画側】**

・就職活動が終わった後に、また改めて自分の将来について考える機会を下さり本当にありがとうございました。

・自分の思い込みが自分の可能性を止めてしまっているということに気づきました。自分には可能性がある、そのことに気づき勇気を頂いた講演会でした。この貴重な出会いに心から感謝申し上げます。

・小さなことでもリーダーシップを発揮することで未来が拓かれていくのだと感じました。自分には何ができるのか、を問いかけ日々の生活の中でリーダーシップを発揮したいと思います。